2027(令和 9)年度

徳島文理大学　大学院

人間生活学研究科博士前期課程

食　物　学　専　攻
生活環境情報学専攻
児　童　学　専　攻
心　理　学　専　攻

# 学 生 募 集 要 項

徳島文理大学大学院

# 人間生活学研究科博士前期課程学生募集要項

1　人間生活学研究科博士前期課程の３つのポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者の受入方針）
・人間生活をとりまく食物学・生活環境情報学・児童学・心理学に関する高度の専門性が求められる職業を担うための，深い学識と能力を培いたいと希望する人。
・各専門分野の理論と応用を研究し，学芸の進歩と創造に貢献したいという意欲を持つ人。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）
・人間生活学の発展のために，食物学・生活環境情報学・児童学・心理学について深い学識及び高度な職業能力を培うことを目的とした各分野の専門科目を置く。
・自立協同の建学精神に基づき，適切な研究指導の下で本学学位規程に定められた学位論文を課す。

■ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）
・人間生活学（食物学・生活環境情報学・児童学・心理学）に関する学術の理論と応用を深く究め，学位を取得するに足る研究能力及び実践力をそなえている。
・人間生活学の高度な専門知識と問題解決能力を生かし，文化の進展と地域及び世界の発展に寄与することができる。

2　募　集　人　員

| | |
|---|---|
| 食　物　学　専　攻 | 6名 |
| 生活環境情報学専攻 | 6名 |
| 児　童　学　専　攻 | 8名 |
| 心理学専攻（臨床心理学コース） | 10名 |

3　出　願　資　格

次の各号(1)～(5)のいずれかに該当する方

(1)大学を卒業した方及び2027年3月までに卒業見込みの方（学校教育法 第102条）

(2)学士の学位を授与された方及び2027年3月までに授与される見込みの方（学校教育法施行規則 第155条 第1項 第1号）

(3)外国において学校教育における16年の課程を修了した方及び2027年3月までに修了見込みの方（学校教育法施行規則 第155条 第1項 第2号）

(4)文部科学大臣が指定した方

(5)本大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で，入学時に22歳以上に達する方（学校教育法施行規則 第155条 第1項 第8号）
なお，これにより出願しようとする方は，本大学院の入学資格審査を行いますので，出願前に余裕を持って，人間生活学研究科までお問い合わせください。　TEL(088)602-8090

4　出願期間・試験日等

| | 出願期間 | 試験日 | 合格発表日 | 入学手続締切日 |
|---|---|---|---|---|
| Ⅰ期 | 2026 年　6 月 12 日(金)～<br>6 月 23 日(火)消印有効 | 2026 年<br>7 月 7 日(火) | 2026 年<br>7 月 22 日(水) | 2026 年<br>8 月 3 日(月)必着 |
| Ⅱ期 | 2026 年 10 月 16 日(金)～<br>10 月 27 日(火)消印有効 | 2026 年<br>11 月 10 日(火) | 2026 年<br>11 月 27 日(金) | 2026 年<br>12 月 7 日(月)必着 |
| Ⅲ期 | 2027 年　2 月 5 日(金)～<br>2 月 16 日(火)消印有効 | 2027 年<br>3 月 2 日(火) | 2027 年<br>3 月 13 日(土) | 2027 年<br>3 月 25 日(木)必着 |

5　試験科目等

| 時　間 | 試験科目等 | | 場　　所 |
|---|---|---|---|
| 9:40～10:30 | 外国語：英語（辞書持込み可，電子辞書持込み不可） | | 徳島文理大学　徳島キャンパス<br>徳島市山城町西浜傍示 180 |
| 11:00～11:50 | 食物学専攻<br>生活環境情報学専攻 | 基礎専門科目：<br>志望する指導教員の担当する科目に関する小論文 | |
| | 児童学専攻 | 基礎専門科目：<br>一般教育学に関する小論文 | |
| | 心理学専攻<br>（臨床心理学コース） | 基礎専門科目：<br>心理学(統計を含む)に関する試験 | |
| 13:00～ | 面　接 | | |

6　出　願　手　続

(1)出願書類等

| | | |
|---|---|---|
| ア | 入学願書・写真票 | 本学所定の用紙。3 か月以内に撮影した上半身・無帽・正面の顔写真を貼付。 |
| イ | 成　績　証　明　書 | 出身大学の学長が出願前 3 か月以内に作成し，厳封したもの。 |
| ウ | 卒業（見込）証明書 | 出身大学等の所定の用紙で出身大学の学長が作成したもの<br>（発行日は出願前 3 か月以内のもの）。 |
| エ | 入学検定料(30,000 円) | 本学所定の納付書を用いて金融機関の窓口で振り込み，受領証(受領書)と受付証明書の受領印を確認のうえ，「振替払込受付証明書(払込金受付証明書)願書添付用」を**願書の入学検定料払込証明書貼付欄**に貼付。<br>海外から振り込みをお考えの方は事前に下記までお問い合わせください。nyushi-g@tks.bunri-u.ac.jp |
| オ | 受　験　許　可　書<br>（該当者のみ） | 現在，官公署・会社等に在職中の方はその所属長の受験許可書<br>（様式任意）。 |

※改姓等により，入学願書と証明書等記載の氏名の表記が異なる場合は，その変更内容が確認できる公的書類(戸籍抄本等)を添付してください。

(2)志　望

食物学専攻志望者は**表 1** の**その 2** から，生活環境情報学専攻志願者は**表 2** の**その 2** から，児童学専攻志望者は**表 3** の**その 2** から，心理学専攻（臨床心理学コース）志望者は**表 4** の**その 2** から指導教員を選択し記入してください（p.5～8）。

(3)出 願 方 法

封筒に**「大学院人間生活学研究科入学願書在中」と朱書きし**，「簡易書留・速達」扱いで郵送してください。

(4)出願書類の送付先

徳島文理大学大学院　徳島キャンパス教務課　入学試験係
〒770-8514　徳島市山城町西浜傍示 180

(5)いったん提出された出願書類及び入学検定料は返還しません。

(6)受験票の送付

①受験票の発送には，出願書類受理後，1 週間程度を要します。
②コンピュータ入力時に表記できない文字（JIS 第 2 水準までにない文字）が氏名や住所に含まれている場合には，文字を置き換えたり，カタカナ等で表記する場合があります。
③試験日の 3 日前までに届かない場合や記載事項に誤りがあった場合は，徳島キャンパス教務課入学試験係までご連絡ください。　TEL(088)602-8031

(7)そ　の　他

①疾病・負傷や障がい等による受験及び入学後の配慮について
疾病・負傷や障がい等により，受験及び入学後の修学上の配慮を必要とする場合には，事に教務課入学試験係にご相談ください。
②教育方法の特例措置の適用
大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例措置による修学希望者は入学願書の備考欄に「特例」と記入してください。

## 7　選　抜　方　法

学力検査，面接及び成績証明書等により，総合的に選抜を行います。

## 8　合　格　発　表

合否結果の通知書を送付します。なお，電話による問い合わせには応じられません。
合格発表日から 2 日を過ぎても合否の通知が届かない場合は，教務課入学試験係にお問い合わせください。　TEL(088)602-8031

## 9　入　学　手　続

合格者は合格通知受領後，所定の期日までに下記(1)提出書類～(2)学納金の入学手続きをしてください。

(1) 提出書類

| | | | |
|---|---|---|---|
| ア | 誓約書 | 1 通 | 本学所定の用紙 |
| イ | 住民票記載事項証明書（本籍地入り） | 1 通 | |
| ウ | キャンパスカード（学生証）申込用紙 | 1 通 | |
| エ | 出身学校の卒業証明書 | 1 通 | 卒業見込みで受験した方のみ，入学後に提出（本学出身者は省くことができます）。 |
| オ | 就学許可書 | 1 通 | 官公署・会社等に在職中の方は，その所属長の就学許可書（様式任意）。 |

(2)学納金

| | | |
|---|---|---|
| ①入学金 | | 200,000 円 |
| ②学費等（半期分） | | |
| 授業料 | | 225,000 円 |
| 施設費 | | 100,000 円※ |
| ☆その他納付金 | | |
| 協力費 | 前・後期　各 | 16,500 円（税込） |
| 研修部費 | 前・後期　各 | 1,650 円（税込） |
| 研修部入会金 | 入学手続き時のみ | 1,000 円※ |

入学金・学費等は 2026 年 3 月 31 日現在

○※本学大学卒業生は施設費及び研修部入会金を免除します。
○後期の学費等は,11 月の指定する日までに納入してください。

10　入学手続き完了後の入学辞退について

入学手続きを完了した後に，入学を辞退される場合は，2027 年 3 月 31 日（水）（必着）までに本学が定める手続きにより申し出た場合に限り，入学金以外の納付金を返還します。手続きの詳細は，合格者へ送付する「合格者へ（連絡)」を参照してください。

11　取得可能な免許資格等

| 専　攻 | 取　得　免　許　状　・　資　格 |
|---|---|
| 食物学専攻 | 中学校教諭専修免許状（家庭）<br>高等学校教諭専修免許状（家庭）<br>栄養教諭専修免許状 |
| 生活環境情報学専攻 | 高等学校教諭専修免許状（情報） |
| 児童学専攻 | 幼稚園教諭専修免許状<br>小学校教諭専修免許状 |
| 心理学専攻（臨床心理学コース） | 公認心理師受験資格<br>臨床心理士受験資格 |

〔注〕専修免許状を取得できる方は，各免許状の 1 種免許状を所有する方または，1 種免許状取得見込みの方とします。
心理学専攻（臨床心理学コース）は，公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会から臨床心理士養成大学院（第 1 種）としての指定を受けています。
また，公認心理師受験資格については，大学において公認心理師法に定める必要科目を履修しておく必要があります。

## 表１　食物学専攻

**その１** 授　業　科　目

| 授業科目 | 担 当 教 員 | 授業科目 | 担 当 教 員 | 授業科目 | 担 当 教 員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 栄養生理学<br>食品分子生理学 | 教授，医学博士<br>石　堂　一　巳 | 食品材料化学 | 教授，博士（医学）<br>増　田　泰　伸 | 病態栄養学 | 講師，博士（医学）<br>森　川　咲　子 |
| 分子栄養学 | 講師，博士（栄養学）<br>粟飯原　乙起 | 食品生化学 | 教授，博士（栄養学）<br>近　藤　茂　忠 | | |
| 食品衛生学 | 教授，博士（栄養学）<br>犬　伏　知　子 | 食品学 | 准教授，博士（医学）<br>釜　野　桜　子 | | |

**その２** 研　究　概　要

| 指　導　教　員 | 研　　究　　内　　容 |
|---|---|
| 博士（栄養学）<br>犬　伏　知　子 | 飲食に起因する健康障害を，未然に防止するための知識と技術が要求される近年において，食品の摂取状況が身体に及ぼす影響について調査し，健康な生活を営むためにどのようなことが必要であるかについて明らかにする。また，睡眠と食品摂取の関連についても研究する。 |
| 医学博士<br>石　堂　一　巳 | 人体における老化とは，加齢に伴う代謝機能の低下や性腺の萎縮により実感される。<br>この老化には年齢相応な正常老化と加齢よりも早く出現する異常老化がある。<br>本研究室では「正常な老化とは何か？」という問題を老化に伴う実質細胞の細胞死抑制と繊維芽細胞の細胞死促進のメカニズムを生化学的・細胞生物学的・分子生物学的手法を駆使して明らかにすることにより解明を目指す。 |
| 博士（医学）<br>増　田　泰　伸 | コリン補給は，認知機能改善に寄与すると考えられている。しかし，コリン単独では限定的な影響のみの報告が多い。ビタミン B12 などの脳神経系に関与する栄養成分とコリンの組み合わせにより，認知機能にどのような影響を与えるのかを研究する。 |
| 博士（栄養学）<br>近　藤　茂　忠 | 難治性大腸がんの根治を阻む責任分子は，変異型 KRas である。この変異型 KRas を阻害できる薬剤があれば，全ての難治性大腸がん患者を救うことができると考えられる。しかし残念ながら，全ての変異型 KRas 分子を阻害できる薬剤は未だ開発できていない。本研究室では，全ての変異型 KRas 分子を阻害できる機能性栄養素を明らかにして，その抗腫瘍効果を大腸がん細胞および大腸がんモデルマウスを用いて実証する。 |
| 博士（栄養学）<br>粟飯原乙起 | 食品中に含まれるビタミンやミネラルは生命活動の維持に必須の栄養素である。各種ビタミン・ミネラルの新規の生体内作用を，遺伝子発現解析を用いて明らかにしていきます。その研究を通して，疾患時のビタミン・ミネラル管理の重要性を高めていきたいと考えています。 |
| 博士（医学）<br>釜　野　桜　子 | 人々がふだん摂取している食事や栄養素の量を調査し，疾病などとの関連を検討する研究を栄養疫学研究という。栄養疫学研究を実施するためには，入念なプロトコールの検討が重要である。本研究室では，主に徳島県の調査で得られた食事や栄養素摂取量と生活習慣病やその指標との関連を，栄養疫学的・統計学的な手法を用いて明らかにする。 |
| 博士（医学）<br>森　川　咲　子 | 肥満，糖尿病などの生活習慣病における食事療法や，運動習慣などの食事療法と関連要因について，臨床疫学の手法を用いて解析する。 |

## 表 2　生活環境情報学専攻

**その 1**　授　業　科　目

| 授業科目 | 担 当 教 員 | 授業科目 | 担 当 教 員 | 授業科目 | 担 当 教 員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 生活情報<br>システム学 | 准教授<br>山　城　新　吾 | 地域・市場調査 | 教授，博士(工学)<br>岡　松　道　雄 | 生活情報学 | 教授,博士(工学)<br>加　治　芳　雄 |
| 生活経営学Ⅰ | 教授，博士(工学)<br>上　田　泰　史 | 住居学特論<br>生活経営学Ⅱ | 教授，博士(工学)<br>加　藤　巨　邦 | 住生活環境学 | 教授<br>山　田　　宰 |

**その 2**　研　究　概　要

| 指　導　教　員 | 研　　究　　内　　容 |
|---|---|
| 博士（工学）<br>加　治　芳　雄 | 高齢化社会が進む現在，認知機能や運動機能の低下を一因とする様々な問題が起こっている。そこで，計測した生体信号を利用し，機能の低下をとらえるための手法を研究する。 |
| 山　田　　宰 | 歴史的建造物から一般的な住宅まで，建築物の保存再生について講義します。特に在来木造建築の保存再生について調査から改修工事まで，実践的な技術の修得に努める。 |
| 博士（工学）<br>岡　松　道　雄 | 人口減少や車社会の進展により，特に地方都市の中心市街地における賑わい喪失が著しい。一方で地価の安い都市周縁部に点在する施設には集客がみられるが，賑わいが都市に表出していない。このような課題に建築デザインが有効な解法を提示できるかというテーマに取り組む。建築と都市の接点（中間領域）に焦点を当て，街や自然に開き交流を生む設えを創出し，豊かな都市空間を生成するデザイン手法を研究する。 |
| 博士（工学）<br>加　藤　巨　邦 | 今世紀前半での発生が懸念されている大地震に対して，安全で安心した生活を継続させていくために必要となる耐震技術や防災減災対策，さらには，少子高齢化社会を踏まえた住居のあり方や地域防災について研究する。 |
| 博士（工学）<br>上　田　泰　史 | 生活に関係する SDGs の 17 目標の中から環境項目を選択して，生活環境経営における情報を入手し，必要に応じて社会調査を行う。生活者の日常の生活環境経営を身近に捉える一つの手法としての環境家計簿等を参考にしながら調査研究を進める。 |
| 山　城　新　吾 | インターネット・スマートデバイス・センサー・AI などの技術発展を背景にして急激に変化しつつあるわれわれの日々の生活や業務のあるべき姿や問題点について，様々な視点や実践を通じて得られる知見をもとに考察する。特に研修設計や教材制作など人材の育成に関しては強い関心を持っている。 |

## 表３　児童学専攻

**その１**　授　業　科　目

| 授業科目 | 担　当　教　員 | 授業科目 | 担　当　教　員 | 授業科目 | 担　当　教　員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 人間形成学 | 教授，博士（教育学）<br>藤　村　正　司 | 児　童　教　育　学 | 教授<br>津　守　美　鈴 | 児童教育方法論 | 教授<br>三　橋　謙　一　郎 |
| 家族関係学 | 教授<br>岡　部　千　鶴 | 児童実践教育学 | 教授，Ph.D.（心理学）<br>松　本　有　貴 | 児童教育相談演習 | 教授，博士(学術)<br>岡　山　千　賀　子 |
| 児童保健学 | 准教授<br>土　岡　大　介 | 児童教育学演習 | 教授，博士（教育学）<br>井　上　好　人 | | |

**その２**　研　究　概　要

| 指　導　教　員 | 研　　究　　内　　容 |
|---|---|
| 三　橋　謙一郎 | 学校教育（幼稚園教育を含む）を中心に，授業・学級指導や生徒指導における教師の指導技術（子どもを呼びこむ教材＝解釈づくり，呼びかける指導案づくり，まなざし，語りかけ，発問，教育的タクト，指導的評価活動，叱責，班話し合い等）のあり方について，教育実践の参観＝分析等に基づき理論的，且つ，実践的に追求していく。 |
| Ph.D.（心理学）<br>松　本　有　貴 | 学校で行うユニバーサルプログラムは，学級などの成員全体を対象とする予防的プログラムとして様々な問題の予防効果が検証されている。欧米では，社会性と情動の学習(SEL: Social Emotional Learning)としてエビデンスが構築され，学力の向上に貢献している。近年，日本においても，非認知的能力に注目した研究が注目されている。児童の心身の発達にかかわる SEL の機能を研究する。 |
| 博士（教育学）<br>藤　村　正　司 | 教育社会学の視座，とりわけ社会化と選抜の視点から児童の人間形成に影響を及ぼす学校集団，家族（親子関係）地域社会，そしてメディアの影響を理論的・実証的に追求しつつ，現代の格差社会生成のメカニズムを研究する。 |
| 博士（学術）<br>岡　山　千　賀　子 | 子育て家庭の現状を把握しそこから課題を見いだし，子育て家庭への支援について多様なケースと情報把握について研究する。特に子どもの育ちに対する家庭や家族の役割について考え，現代における多様な支援の方法を探る。また世界の子育て支援や子育て支援のケーススタディからこれからの子育て支援の在り方を探求する。 |
| 津　守　美　鈴 | 学習指導要領等に於いても一括りにされている「思考力，判断力，表現力」の中で，特に定義 が難しい「判断力」に焦点を当て，「国語科で育成すべき判断力」を明らかにするとともに，「判断する力」を育む国語科の授業づくりについて，理論と実践の両面から研究する。 |
| 博士（教育学）<br>井　上　好　人 | 教育社会学・歴史社会学の基礎的な理論と研究方法論を体系的に修得し，教育現象を社会学的・歴史学的な視点から科学的に考察する力を養う。「なぜいじめはなくならないのか」「不登校はどのように問題化されてきたのか」「教育格差はいかにして再生産されるのか」といった問いを出発点に，現代社会における教育問題の構造的背景を多角的に読み解くことを目的とする。その際，メリトクラシーや文化的再生産論といった概念を手がかりとしながら，データの読み取りや質的な言説分析など，実践的な調査・研究スキルを身につける。 |
| 土　岡　大　介 | 教科教育（保健体育）の各領域における運動方法学的観点からの指導実践事例を中心に領域内容・実技到達段階別の指導技術（習得過程，体力・運動能力，発育発達，保健学的観点を含む）のあり方について，理論的・実践的に追求していく。 |

## 表 4　心理学専攻（臨床心理学コース）

**その 1**　授　業　科　目

| 授業科目 | 担 当 教 員 | 授業科目 | 担 当 教 員 | 授業科目 | 担 当 教 員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 臨床心理面接特論Ⅰ<br>臨床心理査定演習Ⅰ | 教授（臨床心理士）<br>福　本　浩　行 | 臨床心理学研究法特論<br>学校臨床心理学特論 | 准教授（公認心理師・臨床心理士）<br>新　見　員　子 | 心理統計法特論 | 教授（公認心理師）<br>土　中　幸　宏 |
| 人格心理学特論<br>投影法特論 | 教授（公認心理師・臨床心理士）<br>阿　波　亨 | グループアプローチ特論 | 教授（公認心理師）<br>青　木　宏 | 産業・労働分野に関する理論と支援の展開<br>心理学特別演習 | 教授，博士(心理学)<br>原　田　耕太郎 |
| 心理療法特論Ⅰ<br>臨床心理面接特論Ⅱ | 教授（公認心理師・臨床心理士）<br>伊　藤　泰　彦 | 臨床心理学特論Ⅰ<br>臨床心理査定演習Ⅱ | 教授（公認心理師・臨床心理士）<br>渡　邉　悟 | 心理療法特論Ⅰ<br>発達心理学特論 | 教授（公認心理師）<br>中　嶋　英　治 |

**その 2**　研　究　概　要

| 指　導　教　員 | 研　　究　　内　　容 |
|---|---|
| 公認心理師・臨床心理士<br>渡　邉　悟 | 人間性アプローチ，ナラティブアプローチにベースを置き，心理アセスメント，特にロールシャッハ・テスト（包括システム）を心理支援に活かす方法について研究する。 |
| 博士(心理学)<br>原田耕太郎 | 社会的認知に関する研究を進めるとともに，これらの知見に基づく環境改善に関連する研究を行う。 |
| 公認心理師<br>青　木　宏 | ロールプレイングを中心としたグループアプローチの心理臨床における役割や機能について，将来的な可能性も含め研究する。 |
| 公認心理師<br>土　中　幸　宏 | 社会的逸脱の心的メカニズムに関する研究のほか，治療としてのアートに関し，主として非認知能力に焦点を当て，様々な視点から検討・検証を試みる研究を行う。 |
| 臨床心理士<br>福　本　浩　行 | 虐待やいじめの問題に焦点を当て，対象を乳幼児から思春期まで幅広に設定し，心理力動的アプローチの視点からファセット理論解析により解決の方策を探索する。 |
| 公認心理師<br>中　嶋　英　治 | 青年期を中心に，発達上の問題等に焦点を当て，それらが生じるメカニズムのほか，関連する諸要因について研究を行う。 |
| 公認心理師・臨床心理士<br>伊　藤　泰　彦 | 心理検査の中で投影法に位置付けられる描画法，特にバウムテストについて，その描画過程の分析や，解釈技能の習得方法，心理支援の活用について研究する。 |
| 公認心理師・臨床心理士<br>阿　波　亨 | 効果的な心理面接の進め方について研究する。具体的には，どのような考えに基づいてどのような技法を用いれば被面接者が元気になるのか，について研究する。 |
| 公認心理師・臨床心理士<br>新　見　員　子 | いじめや不登校をはじめとする学校教育の様々な課題の理解と支援に向けた研究並びに，カウンセリングや教育相談の在り方についての研究を行う。 |

12　感染症に関する注意事項

本学が実施する入学試験では，学校感染症に罹患し治癒していない方は他の受験生や試験監督者等への感染の恐れがあるため，受験できません。

学校感染症で試験を欠席した方については，追加の入学検定料を徴収せずに可能な限り別日程への受験の振替（入試区分変更）に配慮します。

また，この件に関して質問があれば，徳島キャンパス教務課入学試験係へお問い合わせください。

TEL　(088)602-8321

その他の留意事項

(1)個人情報保護の取り扱い

学校法人村崎学園及びその設置する学校・大学及び短期大学部は，「個人情報の保護に関する法律」に基づき，「学校法人村崎学園個人情報保護規程」を制定し，個人情報の適正な保有や利用につとめています。

つきましては，出願・入学手続等で提出された個人情報は，次のこと以外に使用することはありません。

入学者選抜資料，入学案内資料，入学試験に関する業務，入学前教育実施業務，学生募集に関する業務（出身学校への入学試験情報の提供，入学希望者への入試情報及びイベント情報の提供）出身学校への入学試験合否結果の通知，入学後の指導資料，統計的集計等に使用します。

(2)日本学生支援機構奨学金の希望者は，入学後，学生支援課窓口まで申し出てください。

(3)問い合わせ先

本学大学院人間生活学研究科

TEL　(088)602-8090，FAX　(088)622-3217

2026　年　5　月

徳島文理大学大学院人間生活学研究科

〒770-8514　徳島市山城町西浜傍示 180

TEL(088)602-8090　FAX(088)622-3217